

ジャパングラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

8月度理事会報告

親睦の語らいと、美味しい料理が楽しめる

恒例 B・B・Q ピクニックが決まりました

8月1日(土)行われた8月理事会は7名の理事が参加され、下記の点について討議がなされました。

1) 去る7月19日(日)にサウスサンフランシスコの Basque Community and Cultural Center にて開催された第21回年次総会の反省の一つとして開催場所が East-Bay 居住者達にとって遠いとの理由で参加されなかった事を考慮して来年の総会はやはりサンフランシスコ市内で行う方向で検討された。更に年次総会は必ずしも7月に開催される必要性はなく、新年会と重ねて開催されてはとの意見が出てその方向で試行する事に決定した。

2) 2015~2016年度役員改選の投票の結果、下記役員が改選された：一年間よろしくお祈いします。

会長： 上野正安
 第一副会長： 大隅敏男
 副会長(企画担当)： 宇田川博文
 副会長： 柏原紀子／榴木隆子
 会計： 沖山泰彦
 会計補佐： 柏原紀子
 会計監査： 後藤哲男
 事務局長： 大隅敏男
 催事担当： 北哲也／シュミットまり子／黒沢信平
 広報担当： 古田紘一／宇田川博文
 ニュースレター： 古田紘一

3) 昨年同時期に開催し大勢の会員、非会員が参加し活発な質疑応答のなされた、原田志麻 公認会計士を講師として招いて米国税務関連講習会を10月25日(日曜日)午後1時30分より3時30分の予定で日米会会議室にて開催する事が決められた。(詳しくは来月号に掲載されます)

4) 日本から来られる鹿鳴家英楽師匠と二人のお弟子さんによる“英語落語”の無料公演が8月12日(水)午後1時半より3時半迄 San Mateo Community Center で;翌日の8月13日(木)にはサンフランシスコの Japanese Cultural & Community Center にて午後5時より7時まで公演が開催される。興味ある方は会員のみならず友人誘い合わせの上参加ください。

9月理事会は翌日の9月6日(日曜日)が慣例のピクニック予定日となっており、その打ち合わせも兼ねて日程を繰り上げ、8月29日(土曜日)午後1時よりサンフランシスコ日米会会議室にて開催される故、間違いのない様出席願ひ度くお祈い致します。

事務局(大隅敏男)

ジャパングラブゴルフ大会 報告

今年はジャパングラブのゴルフ大会としては初めてとなるオークランドのメトロポリタン・ゴルフリンクスで7月29日に10名の会員及びゲストが参加して開かれました、このリンクスタイルのコースに皆さん苦労されとようでしたが暑い一日にも関わらず全員無事に楽しい一日を過ごすことができました、幹事の皆様ありがとうございました。

上位5名の成績は以下の通りです:(敬称略)

順位	お名前	GLOSS	H D	NET
1位	大隅	87	21	66
2位	田代	85	13	72
3位	宇田川	99	27	72
4位	沖山(夫人)	96	22	74
5位	三堂	96	20	76

B.B.Q. ピクニック

申し込み用紙と詳しい案内が同封されております
締め切り日は
8月25日です

日時： 9月6日(日) 午前11:00 開始
 場所： San Mateo, Coyote Point Park.
 Eucalyptus #3 area (申し込み用紙の地図参照)

会費： \$ 25.00 (会員一人につき)
 \$ 30.00 (非会員一人につき)12歳以下無料

食事： 食事、飲み物は全て会で用意します、身軽にご参加下さい。
 もちろんご自慢料理があればぜひお持ち下さい、大歓迎です。

バーベキュー(肉、野菜、トウモロコシ等)果物
 飲物(ワイン、ビール、水、お茶、ソフトドリンク)
 を用意してお待ちしています。





この欄は会員の皆様に開放されたスペースです、貴方のごだわり、旅の想いで、専門的知識など皆様に伝えたい事をスタイルにごだわらずお寄せください。文字数はおよそ1,000字程度とし、毎月の締め切りは15日です。

藤原敏江ストーリー (新しく会員になられた藤原さんが語ってくれました)

思い起こすこと、45年前。家庭は裕福ではありませんでしたが、子供のころ、クラシックバレエを7年間習わせてもらえたことで、体育能力を築くことができたのでしょうか。中学校に入ってからは、器械体操、陸上の選手として、週末は競技会に飛び回り、中学卒業の時に、東京都知事から、体育優良生徒の表彰を受けました。目標に向かって、チャレンジすることの楽しみを覚えたのも、この頃だったと思います。

その時私が抱いていた将来の夢は、『競技会に出るために、私を育ててくれた、体育の先生のように、私もなりたい!』というもの。純粋な気持ちで、『目標に向かって、いろんなことにチャレンジをしていきたい』と、子供心に思っていました。

中学校の最後の夏、高校への進路を決めるための三者面談での話。家庭の事情もあり、高校卒業後は、すぐ、社会に出て働いて欲しいというのが、私の両親の希望。『将来は大学へ進みたい、そして先生になりたい、..』という思いを口にだせず、仕方ない...と涙をこらえました。そしてその時、担任の先生が薦めてくれたアドバイスが、簿記や情報処理、経営学などを学べ、卒業後の就職に即役立つ、商業高校に進むことでした。『商業高校に行くのでは、体育の先生には、なれない』人生で初めての挫折感を味わいました。自分の進みたい進路が選べなかったことは、子供心にとても、悲しかったことを覚えています。

ただ、3年の月日が過ぎた高校卒業の時は、そんな悲しい気持ちは、いずこへ。3年間は、バスケットボールクラブに明け暮れ、チームワークやフレンドシップを学び、楽しい思い出の3年間になりました。その高校で学び、身につけることができた実践力、日本の社会人として持つべき常識や礼儀などがどれほど、その後の実際の社会で役立つのか。その後の私の人生にどれだけ大きな影響をあたえたか。そんなことを考えるだけで、すべては、理由があって起こるものだ...ということ、本当に実感します。

OLとして働き始めたのが、高校を卒業した後の、18歳。とても素晴らしい会社でした。週休2日制、お給料も良く、商業高校で習ったことが、そのまま実践で使えました。ただ、自分に与えられた仕事のほとんどが、午前中で終わってしまうくらいの内容だったこともあり、毎日のお茶くみや簡単な財務処理だけでは、何か物足りず、自分の毎日の時間を無駄にしているという気持ち、どんどん強くなっていったのです。会社に行っていたら、お給料がもらえるわけですから、それで、よし...とすれば良かったのですが、どうもその辺が、ストレスにつながって行ったのです。自分のお給料を稼げるようになったことで、家族を助けながらも、自分のためにも使えるお金も増え、すこしずつ貯めて行くこともできるようになり、昔からのパッションだった、ジャズダンスのクラスを受講したり、そのころアメリカから日本に伝わった、『エアロビクス』に出会うチャンスにも恵まれました。

そんな時に行われた、第一回の『全日本エアロビクス大会』で、上位に入賞。OLで入賞できたのだから、もしかしたら、自分もインストラクターになって、フィットネスの業界で活躍できるかもしれない...。そんな思いで、インストラクターになるための養成コースに申し込み、会社のあとは、即、勉強と実践でのトレーニングに明け暮れました。『自分の夢を持つ...』叶うかわからないけれど、自分の足で、夢に向かって進む...。そんなはじめての経験でした。

そして、OL生活も2年が過ぎようとしたころ、住友不動産フィットネス(株)が、アメリカで大ブームになっていた総合スポーツクラブ経営の『ノーチラスクラブ』の権利を得て、日本へのフランチャイズを展開することが決定、インストラクター募集のオーディションが行われることに。『インストラクターになるチャンス!』そしてラッキーなことにそのオーディションをパスした私は、ノーチラスクラブのインストラクターとしてのポジションをゲット、スタッフ第一期生として、転職することが決まりました。

スポーツクラブオープンまでの3ヶ月間は、お給料ももらっての研修。ノーチラスアカデミーに通わせてもらい、エアロビクス指導だけではなく、マシンコーチとして働くためのトレーナースキルも勉強させてもらえました。アメリカから派遣されたアメリカ人インストラクターのもと、最新のアメリカンフィットネスを、習うことができたのです。英語ができれば、いろんなことを直接、もっと、もっと習えるのに...3ヶ月の研修期間で、心のどこかに、そんな思いがよぎっていました。

1986年、スポーツクラブのオープン。東京の青山という土地柄、そしてアメリカからの『ノーチラス』という名前、東京に住むアメリカ人たちが、わんさか、メンバーとして入会、『ここはどこ アメリカ?』と思うくらい、マシンジムには、日本人が一人もいないこともありました。そして、英語をもっと、もっと、話せるようになったら、いろんな方とコミュニケーションを取れるはず...。そんな意欲がどんどんわき、そこから、毎日の英語の勉強が始まりました。スラングの女王(笑)と呼ばれるくらい、日常の生きた英語をアメリカ人メンバーの方たちから習えました。

それから、3年間。『いつか、本場のアメリカに渡って、最新のフィットネスの勉強をしたい...』これが、次の夢と目標。お給料の安いインストラクター業からのお金を、毎月、こつこつ貯めて、アメリカに渡る自分を毎日夢見ていました。ノーチラスクラブでの仕事を通して、収入以外に、信頼をベースにした人脈やコネクションがたくさん出来、私のエアロビクスのクラスの生徒さんも増え、なんと、私のアメリカ留学の個人プランは、そんなアメリカ人の生徒さんやメンバーさんが力を合わせて、実現させてくださいました。そして、24歳の誕生日、単独でサンフランシスコに、フィットネス留学(自分でなづけました(笑))に来たのです。

渡米できるまでの準備期間中、アメリカからのエアロビクスチャンピオンたちが、大会のために来日したときに、勇気をだして、かたことの英語で連絡先をもらったことも、その後のサンフランシスコ生活を大きく変えたと思います。

貯めることのできた滞在費は、6ヶ月間のみ。その6ヶ月間で、英語をマスターし、最新のフィットネスを学び、日本に帰ることが、私のミッションでした。日本語では、話さない。通った学校での日本人クラスメイト達にも、裕福に留学しているわけではないので、日本語で話しかけないでほしいと頼んだ位。

学校が終わった後は、スポーツクラブを回り、ボランティアでエアロビクスのクラスも指導させてもらうチャンスも得られました。日本から持ってきた、重いカセットテープとシューズを持ち、サンフランシスコ中のスポーツクラブやスタジオのディレクターに自分を売り込む、大胆なことのできたのも、強い夢があったからでしょうか? その後、インストラクターとして登録してもらえることにつながり、サンフランシスコ中のスポーツクラブは、ほとんど無料で使わせてもらえました。世界を飛び回る、有名インストラクターたちにも、かわいがってもらい、フィットネス業界でのコネクションがどんどん、大きくなって行ったのです。

(9月号に続きます)

お願い：2015~16年度の名簿の訂正について

- 中原憲子さん(EB-2)の電話番号が次の様になりました。
510-705-1791 (home) 510-593-8025 (cell)
- 大槻悦子さん(EB-2)の携帯電話番号が仕事先電話として記載されておりました(全会員名簿で) 改めて携帯番号は 808-397-6231 です

お手数ですが、お手元の名簿に以下の訂正を加えてください

- (EB-2) のグループの地域連絡担当者を今迄 **神村純子さん** にお願しておりましたがご都合により降板されました、長い間ありがとうございました。この結果新しく **シュミットまり子さん** にお願する事になりました。(EB-2) のグループの方はお手元の緊急連絡網リストを訂正してください。